

**令和6年度 冬季国際競技大会基礎調査業務
仕様書**

1 目的

札幌での冬季国際競技大会誘致の可能性を探るため、各大会の開催要件や経費等について調査を行う。

2 履行期間

契約締結の日から令和7年2月28日（金）まで

3 内容

冬季競技が行われる国際大会（以下、「冬季国際競技大会」という。）を調査し、各大会の大会規模、開催要件、経費、近年の開催状況、招致プロセス等を整理するとともに、札幌への誘致の可能性及び効果等を簡易評価する。

(1) 冬季国際競技大会の個票及び一覧表の作成

ア 対象大会

大会種別	内容
ワールドカップ	・ 下記イの競技を含む国際競技連盟主催大会

イ 対象競技

競技	種目等
スノーボード	ビッグエア・ハーフパイプ・スロープスタイル

ウ 調査項目

- ・ 主催者
- ・ 開催頻度
- ・ 競技種目（レギュレーション含む）
- ・ 出場資格
- ・ 参加国
- ・ 参加人数（選手、関係者、観客）
- ・ 大会経費（収入（公的資金含む）・支出の内訳等）

- ・会場要件
- ・近年の開催状況（過去10年程度、将来大会も含む）
- ・日本における開催実績
- ・招致プロセス
- ・その他協議により必要とされた項目

エ 調査方法

- ・公式ホームページ及び既往文献等による情報収集
- ・競技連盟へのヒアリング（1団体）
- ・調査対象競技を直近で開催した海外都市へのヒアリング
（1都市 ※オンラインによるヒアリングも可能）

【参考】2022-23 ワールドカップ及び2023-24 ワールドカップ開催地
アメリカ（Copper Mountain、Mammoth Mountain）
スイス（Laax、Silvaplana、Chur）オーストリア（Kreischberg）
フランス（Tignes）カナダ（Calgary、Edmonton）
ジョージア（Bakuriani）スウェーデン（Falun）中国（北京）

(2) 札幌市での開催可能性の検証

ア 会場候補地の整理

上記(1)ウで整理した会場要件を基に、市内既存会場の適合状況を5段階で評価をした上、懸念事項を付記すること。（概略図等は不要）

イ 開催経費の検討

競技連盟等へのヒアリングを基に、各大会を札幌で開催した場合の開催経費の概算を行う。経費算出の際には、札幌市におけるオリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致に係る財政計画を参考に、人員や会場割合に応じて推計する。

ウ 効果検証

上記(2)アイ及び本市のまちづくりへの影響（経済波及効果）を整理し、本市での開催効果を検証する。その他効果（スポーツ振興・共生社会の実現など）についても参考となる資料等を踏まえ検討する（可能なものについては効果の定量化も検討）

(3) 報告書の作成

(1)～(2)の調査内容をまとめた報告書（概要版及び詳細版）を作成する。

4 成果品の提出

報告書はデジタルデータ（CD-R、DVD等）1部と出力稿2部を提出すること。

5 検査場所

札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課
（札幌市中央区北2条西1丁目ORE札幌ビル9階）

6 知的所有権の帰属

当該業務の調査結果及び成果品として納品される報告書に関する著作権等の知的所有権は、委託者に帰属する。

7 留意事項

- (1) 業務の細部や本仕様書に疑義が生じた事項については、双方協議のうえ決するものとする。
- (2) 個人情報の保護に努めること。
- (3) 受託者は本業務の遂行にあたり収集し、知りえた情報などを一切の事項について、外部に漏洩がないようにするとともに、目的外には使用しないこと。
- (4) 本市条例、規則、その他関係法令を遵守するものとする。

8 所管

札幌市スポーツ局スポーツ部スポーツ都市推進課
担当：四方 電話 011-211-3042